

【施策評価調査】

施策名	6-2-2	女性を暴力から守るための対策の強化		130	家庭、職場、地域において男女の役割意識や、これまでの固定観念を見直し、男女間の差別や不平等のない社会を築き、地域等の課題解決に対して、男女が共同して参画するまちの実現に向け、町民の意識改革に向けた啓蒙、女性の社会参加機会の確保と意識の向上を推進します。 また、社会的弱者と言われる、女性や幼児・児童など、支援を要する者に対して、速やかな対策を講じることが出来るような取り組みを進めます。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 山野井 紀泰		
環境変化	H21事前評価からの変化は特にありません。				女性に対する暴力の根絶に向けて、健康福祉課ではコーディネーターを配置し、児童虐待・DV等の防止や虐待者へのケアを行っています。円滑な相談指導体制を強化するとともに、暴力防止に向けた普及啓発活動を実施していきます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:「DV撲滅呼びかけ」記事の広報紙年間掲載回数(回)	平成16年度	計画	4回	6回	6回	6回	6回
		実績	↓ 2回	↓ 4回	↓ 4回	↓ 1回	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	0	0	65,000	0	
	決算	0	0	0	0	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①DV撲滅連携事業費	当初 0	研修、説明会等の実施回数	B	広報誌を利用したイコールの掲載で、広く町民への周知、啓蒙普及を行うことができました。			
	決算 0	0 / 3回		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②DV被害者対策推進事業費(※再掲) (健康福祉課事業)	当初 143,000	仮称DV被害者等連絡協議会の開催数	A	平成21年度は、相談窓口職員の研修会参加を進め、意識の向上を図った。今後とも相談しやすい体制を整えていく。			
	決算 97,500	0 / 1回		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	DV(ドメスティックバイオレンス)対策が現代的重要課題であることは承知していますが、非常にセンシティブな分野で、踏み込んだ具体的な方策を講じることは出来ませんでした。	広報啓発に関しては、広報たかねざわにコラムとして掲載する「イコール」を活用して進めます。また、実効性のある仕組みづくりについては、健康福祉課、こどもみらい課、NPO等と協議しながら検討したいと考えます。
総合評価	今までの施策展開で行ってきた取組みの成果を検証した上で、健康福祉課、こどもみらい課、NPO等が行っている他の施策や事業と抱き合わせて行うことで、より一層の成果が得られるのであれば、統合や連携するなど単独の施策として取組むべきか十分に検討すること。	